

<お金が『見える』ようになる、簡単・便利な家計簿アプリ>

FPネットワーク神奈川会員 長谷川 泰且

今年のゴールデンウィークはみなさま、いかがお過ごしでしょうか。新天皇の即位に伴って10連休だ！という方も多いと思いますが、どうしても気になるのはお財布の中身ですね。今回はそんな方々のお役に立つ「家計簿アプリ」についてお伝えします。

■フィンテックという言葉を知ったことはありますか

フィンテックを英語で書くと「FinTech」です。これは、金融を意味する「Finance」と技術を意味する「Technology」を組み合わせた言葉で、金融に関する難しい事柄をわかりやすくするIT技術とも言われています。「オンラインバンキング」や「モバイル決済」などは身近なフィンテック活用例です。

そしてITを活用して便利に、そして素早く処理が可能になったのが「家計簿アプリ」です。フィンテックを理解するのに最もとりかかりやすいアプリと言えるかもしれません。

■「家計簿アプリ」でどうなるの？

これまでは家計簿をつけるとなると、レシートを見て商品の品目や価格を書き写したり、パソコンに入力したりと結構大変でした。まとめてやろう、と思っているうちに財布の中がレシートでパンパンになっている、という方も多いはず。そこで登場したのが、レシート読み取り機能が付いた「家計簿アプリ」です。

スマホでレシートをパシッと撮影するだけで品目や価格が自動的に入力されて支出合計まで計算してくれます。中にはカテゴリーごとに自動的に分類してグラフや表を作ってくれるアプリもあります。また金融機関やクレジットカードの情報を登録すればお金の流れ全体をグラフ化できて複数の口座残高を一括管理できるという優れたアプリもあるのです。取り扱いの簡単さに加えてお金の管理の煩わしさを解消できることが最大の魅力となって、家計簿アプリを利用する人が増えています。

カルチャークラブ

現在 700 万人以上の利用者がいると言われている「マネーフォワード」や「Zaim」、またゲーム感覚で家計簿をつけることができる「FortuneCity」などいろいろなアプリがあります。気になるアプリがあればいくつか使ってみて、自分に合ったものを使い続けてみてはいかがでしょうか。

■セキュリティは大丈夫なのか？

銀行やカード会社のデータと連動、と聞くとどうしても心配なのがセキュリティですね。アプリを提供する各会社もその点は充分心得ていて、ほとんどのアプリはユーザーから預かった情報や通信内容をすべて暗号化し、また外部のセキュリティ診断会社からの第三者評価なども受けています。インターネットバンキングで出金や振り込みをするときに必要な第2暗証番号や乱数表、ワンタイムパスワードなどの入力も不要ですので、リスクについて過敏になる必要はなさそうです。どうしても心配、という方は家計簿機能だけ利用するのもいいでしょう。

フィンテックサービスはすでに身近にたくさん存在し、スマホのアプリを活用すれば、さらに便利な金融サービスを受けることができます。ぜひ一度体験してみてください。